## 中国電力担当分

【1号機】: 自主的な点検のため、平成22年3月31日に発電停止。 【2号機】: 第17回定期検査のため、平成24年1月27日に発電停止。

1 運転保守状況(中電データ)

号 機	炉型	定格	営業運転	3月の設備	3月の発電	4月18日の	備考
		電気出力	開始日	利用率(%)	電力量(万 kWh)	状況	
1 号機	BWR	46 万 kW	S49.3.29	0.0	0	停止中	
						(H22.3.31 ~)	別紙1のとおり
							運転再開時期未定
						第 29 回	
						定期検査中	
						(H22.11.8 ~)	
2 号機	BWR	82 万 kW	H1. 2.10	0.0	0	第 17 回	
						定期検査中	別紙 1 のとおり
						(H24.1.27 ~)	運転再開時期未定

- 2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象(3月19日~4月18日) 該当なし
- 3 安全協定第10条で規定する異常事象(3月19日~4月18日) 該当なし

4 放射性固体廃棄物管理状況(中電データ)

3 月末現在

	3月末保管量(前月比増減量)	3月発生量	3月処理量2	前月末保管量
ドラム缶保管量 (本)	24,325 (27)	281	254	24,298
その他の種類の保管量(本相当)	2,655 ( 41)	0	41	2,696
合計	26,980 ( 14) 1	281	295	26,994

1 保管能力: 35,500本 2 処理方法:減容処理 焼却処理

5 使用済燃料貯蔵状況(中電データ) 3月末現在(単位:体) 合 計 1 号機 2 号機 燃料プール貯蔵量 322 1,956 2,278 貯蔵 全容量 1,140 3,518 4,658 660 2,818 3,478

管理容量 = 全容量 - (1炉心分<sup>3</sup>+約1取替分<sup>4</sup>) 3:1号機 400体 2号機 560体

4:1号機 80体 2号機 140体

## 島根県担当分

放射性廃棄物の放出状況(中電データ) 今日までの放出電籍は年間放出管理日標信等を下回っている。

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。 (単位: Bq)											
		放射性気体		放射性液体廃棄物(3月)							
		放射性希ガス	放射性30素(I-131)	トリチウムを除く	トリチウム						
原子炉放	<b>拖設合計</b>	$ND^{-1}$	$ND^{-2}$	$ND^{-3}$	$6.1 \times 10^{8}$						
(今年度	度累計 )	(ND)	( N D )	(ND)	$(1.5 \times 10^{11})$						
号機別 5	1号機	$ND^{-1}$	N D 2	$ND^{-3}$	$6.1 \times 10^{8}$						
内訳	2 号機	$ND^{-1}$	N D <sup>2</sup>	放出実績なし	放出実績なし						
年間放出管理目標値		$8.4 \times 10^{14}$	$4.3 \times 10^{10}$	$7.4 \times 10^{10}$	$7.4 \times 10^{12}$						
サイト	トバンカ建物	=	$ND^{-2}$	-	-						
くせんグェートはひょうとしゅしェートは、											

1:検出限界値 約2×10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 以下 2:検出限界値 約7×10<sup>3</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 以下 3:検出限界値 約2×10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 以下

:山阪介値 約2 X 10 Bq/cm 以 (<sup>60</sup> Co で代表) : 間か山笠四の甘港位を示す

4:年間放出管理の基準値を示す 5:液体廃棄物については放水口別内訳

(単位:cps) (排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値) 3 月 先月の実績 安全協定で定める 最小 ~ 平均 ~ 最大 最小 ~ 平均 ~ 最大 通報基準値 ~ 6.7 4.9 ~ 排気筒モニタ 1 号機 4.95.9 ~ 6.7500 <sup>8</sup>(1,000 500 <sup>8</sup>(1,000 2 号機 2.7 2.7 3.2 3.7 3.3 3.8 放水路水モニタ 1 号機  $^{7}$  ~ 2.0 <sup>8</sup>(70 <sup>9</sup>) 1.8 ~ 2.1 5.8 1.7 7 2 号機  $3.8 \sim 4.4 \sim 5.2$ 8 <sup>8</sup>(80  $3.7 \sim 4.3 \sim 5.0$ 

6:降雨の影響による指示変動 7:1号放水路水モニタダウンスケール に伴う指示変動時の値を除く

8:この状態が10時間続くとき 9:この状態になったとき

モニタリングポストの測定結果(敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム)(中電データ、県データ) (単位:nGy/h)

/ ヒーノソファがストの別に加木(放地境がヒーノソファがスト及の境境が利益に扱うステム)(中电ノーノ、ボノーノ) (中位・IIG)											<i>xy</i> / 11							
	敷地境界モニタリングポスト (中電管理分)							環境放射線情報システム(県管理分)										
								西浜佐陀	御津	古浦	深田北	片句	北講武	佐陀本郷	末次	大芦	上講武	手結
平均值	24	27	35	24	31	30	平均值	47	41	41	29	44	38	30	34	37	38	43
最高値	55	54	63	54	61	53	最高値	86	69	70	58	70	67	60	62	69	74	73
月平均の変動幅	19 ~ 25	23 ~ 29	30 ~ 37	21 ~ 25	28 ~ 33	26 ~ 31	平常の変動幅(上限)	87	74	71	60	71	70	64	59	70	77	73
過去の最大値	82	79	115	105	130	100	前年度までの最大値	164	129	111	106	112	114	126	192	127	120	111

(参考)定例プレスでは掲載しない情報の例示

- (1)環境放射線及び温排水測定結果・・・「環境放射線等調査結果報告書」(四半期報)で公表する。
- (2)地震発生時の発電所の状況連絡・・・震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。

担当:島根県 防災部 原子力安全対策課

電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930 中国電力(株)島根原子力本部 広報部

平常の変動幅(上限)を超えた値は、降水の影響と推定される。

電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514